

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース

准教授 星 善光

取組状況

教育	<p>1. 講義内容や課題を時勢に合わせて更新 コロナ禍が続く中、担当科目の課題や資料をオンライン授業へ対応が可能な形式に変更した。学生が積極的に課題へ取り組めるように、身近な事柄や視覚的に面白い内容に課題を変更し、さらにオンライン環境でも実行できるように改良した。学生からの評価は前年度より上昇した。</p> <p>2. 課題・宿題の充実 「情報処理Ⅰ」については例年通り20回程度の課題を実施した。「生活支援工学Ⅰ」「医学概論」「生体信号処理」では、授業内容を効果的に復習することを目指し、今までの課題を改良すると同時に新しい課題を追加して課題数を増やした。</p>
研究	
社会貢献	<p>1.OPC講座の開催 「高齢者・障害者の生活を支える新しい技術」の基礎編及び応用編を開催した。二講座とも参加者からの評価は好評で、高齢者・障害者に関わる支援技術についての基礎知識や研究の重要性を広めることができた。昨年度より取り入れている参加者同士のディスカッションも情報交換の場として好評であった。</p>